

# グリーンインフラの推進

## 既存インフラである里山を活かす

- 里山整備を通じた循環
  - ▶ 地元産材の利用促進（住宅用建材、インクルーシブ公園の遊具、子どものおもちゃなど）
- 里山文化の活用
  - ▶ 若手農家との連携による情報発信、交流の場づくり
  - ▶ 里山の仕組みを専門的に学ぶ取組み
- 里山を観光資源と捉え県外にPR

## まちなかでの取組み

- 緑や自然を感じながら休める場所・緑陰の整備
    - ▶ 「意図のあるベンチ」の設置
    - ▶ 空き家やオープンガーデンの活用を検討
  - 個店などがそれぞれ店先にプランターを設置
    - ▶ お店で使える野菜やハーブ、花などを無農薬で育てる
- ウォーキングマップや井戸巡りマップなどの他の情報とリンクさせて、エリア単位で活用・情報発信
- 賑わいにどうつなげるか
- 市民が関わるができる場
- 自然への理解を深めることができる取組み

## 持続可能性を高める仕組みづくり

- 市民が楽しみながら管理できるしくみの構築
    - ▶ 景観コンテストなど
  - 地元の学生やアクティブシニアなどの参画
    - ▶ 「体験」を得られるインセンティブ
- 自主的な管理やモチベーションアップにつながる

# サイクルツーリズムの推進

## ターゲットに合わせた施策の推進

### 本格派層

- 高額な自転車を安心して保管できる置場の整備 ▶ 民間による整備促進のための補助制度
- サイクルトレインや自転車が乗せられるバスなど、既存交通インフラの活用
- 本格的なサイクルツーリズムは長時間・長距離のため、サポートカーが必要

### 一般・ファミリー層

- 子どもや家族連れが気軽に楽しめるコースの整備 ▶ 子どもをターゲットにした取組みにより、将来的な自転車人材の育成にもつなげる
- シェアサイクルの充実

### インバウンド

- 交通ルールを含めた安全面が課題 ▶ 日本の交通ルール等を学びながら観光できるツアーの造成
- 普通の田舎暮らしを求める声への対応 ▶ 里山の暮らしを体験できるツアーの造成
- 多言語化対応（案内サイン等）

## その他の意見

- 新たな自転車レースやイベントの検討 ▶ 松本ならではの山岳コースを最大限活用  
大町や高山とも連携した「ツール・ド・北アルプス」など
- 街道の移動は自転車、魅力的な路地が多いまちなかの移動は歩きという観光スタイルの確立  
▶ 自転車施策を進めることで、「歩く」ことにつながる
- 旅行中の事故等に備えた自転車保険（旅行用に手軽に加入できる短期のものなど）
- サイクルツーリズム推進のためには、まずは地元の人が自転車に乗ること（説得力が増す）